

アモーンティップ・パークスチョン 研究員（タイ）



はじめまして。私はタイ国の防災局から来たアモーンティップ・パークスチョン（Amornthip Paksuchon）と申します。防災局では、関連機関との連携および協力体制を構築することを主たる活動としてきました。災害対応の緊急時には、防災局は被災者の支援、被災地の早期復興などを早急に実施しています。また平時においては、官民間問わず様々な機関と連携して、人材育成のためのトレーニングの実施や、防災訓練の実施などを行っています。

私が所属する防災局のひとつの部署にあたる災害予防促進部の主な業務は、防災意識の向上を図るため、一般の市民を対象とした防災対策活動の支援と促進を行っています。防災の促進は、コミュニティや学校のような異なったレベルにおける災害リスクの軽減の防災意識を向上させることができます。またさらに、災害予防促進部は他の関連機関と連携して防災対策を実施しています。

この部署において、私は主に人材育成の業務に従事しています。具体的には、ワークショップやセミナー、トレーニングの準備や実施の際に、局長との情報調整役として業務を行ってまいりました。また他の関連機関と連携して、セミナーや会議、消防訓練などの実施などにおいても管理業務を行ってきました。

客員研究員プログラムの参加においては、このような機会を与えて頂いた全ての皆様に感謝をしたいと思います。私にとって、このプログラムは今後私が自国で防災活動を実施する際に、大変効果的になるものだと思います。さらに、ADRC のスタッフや参加させていただいている JICA 研修の研修生を通じた情報や経験の共有は、今後私の国におけるより安全な地域づくりの推進においても、大変役立つものだと思います。

上述の参加させて頂いている研修において、ここで得られる知識は特に私の関心の高い活動の実施に有効的な経験として生かすことができると考えています。様々な種類のプログラムで防災活動を実施するカエルキャラバンは、私の国においてひとつのモデルとなり、防災予防を拡大させるひとつのツールとして期待することができます。この研修は、参加者の連携を強化させて、アジア地域における情報ネットワークの強化をもたらしていると思います。

最後に、このような機会を与えて頂いた日本政府および ADRC の職員の方々に改めて感謝いたします。